

ウソ (学名: *Pyrrhula pyrrhula griseiventris*) [スズメ目アトリ科]



ウソは、和名の由来は口笛を意味する古語「嘯(口笛)」から来ており、ヒーと口笛のような鳴き声を発することから名付けられました。

全長は15~16cm、翼開長は約26cm。体重は21~34gあり、体はスズメよりやや大きく、頭の上と尾、翼の大部分は黒色、背中は灰青色。くちばしは太く短く黒い。雄の頬、喉は淡桃色をしているが、雌にはこの淡桃色の部分はありません。

只見町では、1月末頃から小川地区の河川周辺、季の郷湯ら里の前庭等の里山付近の道路沿いにあるサクラ、ウメ、モモの樹木で給餌する姿を見ることができ、繁殖期以外は10羽ほどの小規模の群れを作り、木の実や蕾を食し、蕾ごと嘴でもぎ取り、外皮を器用にとってから芯のみを食します。

繁殖期は5~7月で、縄張りをもちつがいで生活し、針葉樹の枝の上に枯れ枝などを使って椀形の巣を作ります。

酷似した個体で「アカウソ」という鳥がおり、特徴は胸から腹が紅色・尾羽の一番外側に白色の軸班があります。

企画展示 「旧田子倉集落の生活と文化」展
期間 1月5日(日)~3月末まで

渡部弥さんが只見町にある「ふるさと館田子倉」に収集していた田子倉集落に関する展示物を展示します。

詳しくは、
只見町プラナセンター
までお問い合わせ
ください

※この広報紙は再生紙を使用しています



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています

私たちが 今年の「雪むすめ」です!

2月8、9日に行われる第42回只見ふるさとの雪まつりの「雪むすめ」への委嘱状交付式が12月13日に行われ、渡部朋子さんと長谷部千晶さん、そしてインターネットを利用して雪まつりの情報を発信するツイート雪むすめのケバブちゃんへ目黒町長から委嘱状が手渡されました。

「雪むすめ」の2人は「来場者楽しんでいただき雪まつりが盛り上がるよう頑張りたいです」と意気込みを話してくれました。

ぜひ皆さん雪まつりにお越しください!



左から「渡部朋子さん」「長谷部千晶さん」
中央「ケバブちゃん」